

ひまわりクリニックきょうごく

ひまわり便り

Vol.58

5月からいよいよ京極町でも新型コロナウイルスワクチンの接種が始まります。ワクチン接種の影響でアナフィラキシーの症状が出たなど、ニュースでも話題に上っていますが、こうしたアナフィラキシーの症状は新型コロナウイルスワクチンに限らず、どのワクチンにも起こりえる事です。

アナフィラキシーってどんな状態？

「アナフィラキシー」とは、アレルギーの原因物質が体内に入ることにより、皮膚や臓器にアレルギー症状が2つ以上起こり、急速に症状が進行していく状況を言います。そして「アナフィラキシーショック」とは2つ以上のアレルギー症状に意識障害や血圧低下などのショック症状が伴う場合を言います。

皮膚症状

気管支・肺の症状

消化器の症状

循環器・神経症状



じんましん
湿疹 等



呼吸困難
せき 等



嘔吐
下痢 他



身体の2つ以上の場所にアレルギー症状をみとめる

アナフィラキシー

血圧低下・意識障害等

アナフィラキシーショック

全身にじんましんが出た上に息が苦しいと言う時、アナフィラキシーショックだと思われる方が多いと思いますが、この場合は「アナフィラキシー」ではありますが「アナフィラキシーショック」ではありません。

アナフィラキシー症状にも幅がある

新型コロナワクチンの接種ではアナフィラキシーの症状が出るリスクは否定できませんが、アナフィラキシー症状には軽いものから重いものまで幅があり、アナフィラキシーショックの症状が出ることは極めてまれな事です。仮に新型コロナウイルスワクチンの接種により症状が出てしまった場合でも、会場では適切な処置を行えるよう医薬品等の準備をしておりますのでご安心下さい。

5月の診療受付時間につきまして

毎週月・火・水曜日の午後の診察は新型コロナウイルスワクチン接種業務のため、休診とさせていただきます。

※5月中は新型コロナウイルスワクチン接種はひまわりクリニック内で行う予定はございません。

ワクチン接種対象の方は役場からの案内をご確認の上、接種会場までお願い致します。

0136-42-2161

ひまわりクリニックきょうごく

